

2024年度 次世代 AI 人材育成プログラム 審査結果の総評

大阪公立大学大学院
次世代 AI 人材育成事業
事業統括・選考委員長

まず、今回は事業初年度でありましたが、本事業の趣旨を汲み取り、幅広い学問分野から多数の応募をいただきましたことに感謝します。

選考委員会では、厳正なる審査を行い、本年度は4名の学生を選抜することになりました。審査結果は申請者本人には6月21日付けで行いました。

選抜された学生は、今後さらなる研鑽を重ねることを期待します。また、今回、希望に叶わなかった方も、書類審査・面接審査に真剣に向き合い、挑戦していただいたことに敬意を表します。この経験を糧として、ご自身の研究内容の深化や高度化に向けた努力を期待します。学年によっては本事業への再応募が可能ですので、引き続き挑戦いただけることを期待しています。

なお、今後もさらに AI・情報学分野において高いレベルで成長したいと考える意欲ある人材を幅広い学問分野から募集しますので、次回以降の応募に際しては以下の総評もあわせて参考にしてください。

総評：

- 申請者は、募集要項を熟読し、評価項目及びルーブリック評価表を理解し、審査で何が求められているかをよく考えて、ご自身が具体的に何を成し遂げたいのかを分かりやすく書類及び面接で説明していただきたい。
- 申請者には、自身の研究計画を“専門外”の他者に対して明快且つ簡潔に説明・表現することが求められる。その上で、AI・情報学分野の知識や技術を活用して、どのように研究を発展させたいか、具体的に説明していただきたい。
- 申請者には、「トランスファラブルスキル」の重要性について十分に考え抜き、ご自身として具体的にどのような能力を身に付けたいのか、そのために、どのような取り組みが必要かについて、具体的に説明していただきたい。
- 申請者には、課程修了後のキャリアパスについて、現状と将来のギャップを認識した上で、どのようにすれば到達できるのかということを緻密に計画し、その実現可能性も含めて具体的に説明していただきたい。
- 選抜された場合、支援期間中にドイツ人工知能研究センター（DFKI）への渡航及び研修が必須となるが、自身の研究に関連付けて、現地でどのような交流や活動を行いたいのか、可能な範囲で事前に情報収集及び調査を行い、具体的なイメージを持っておくことが望ましい。
- 申請者自身が、将来、現代社会の課題解決、先導的研究領域の創出あるいは、より良い未来社会の実現に向けて、どのように取り組みたいのか、意欲的・挑戦的・創造的な提案に出会えることを期待したい。

以上